

小出権重 1928年



伊藤継部 1950年

大橋了介 1928年



かけらを見つめて、

ザ・コレクション

星のような

のこすこと/のこされるもの

2018年12月8日(土)—2019年2月11日(月・祝) 芦屋市立美術博物館

開館時間＝10:00－17:00(入館は16:30まで)／休館日＝月曜日(ただし12/24・1/14・2/11は開館、12/25・1/15は休館)、年末年始(12/28-1/4)／観覧料＝一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※ 高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者の方は各当日料金の半額になります。 ※観覧無料の日＝12月24日(月・祝)、2019年1月14日(月・祝) ◎会期中の毎週水曜日はトークフリーデー(会話を楽しむ美術の時間)

主催＝芦屋市立美術博物館 後援＝兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE

●同時開催＝「昔のくらし」／芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25 TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp

具体美術協会 1965年



見えたもの。



芦屋カメラクラブ 1930年

Inherit
the Shining Stars
★



1



2



3



4



5

1. 吉原治良 《作品》
1956年 油彩、布
2. 伊藤継郎 《鷗》
1965年 油彩、布
3. 小出樞重 《自画像》
1920年 油彩、板
4. 大橋了介 《街角の風景》
1929-33年 油彩、布
5. ハナヤ勘兵衛 《船C》
1930年
ゼラチンシルバー・プリント
全て芦屋市立美術博物館蔵

当館では、美術作品とともにスケッチ帳や日記帳、手書きの原稿や写真資料など、作家の関係資料も収蔵・保管しています。中には、谷崎潤一郎が小説『夢喰う虫』の挿絵を依頼した小出樞重宛ての書簡や、滞欧時に樞重が家族や親しい人へ宛てた手紙のほか、藤田嗣治や荻須高德らが書き綴った大橋了介への葉書、大橋と写る佐伯祐三や山口長男らの写真、伊藤継郎が所属していた二科会や新美術家協会、新制作派協会などでの宴席や料理好きだった伊藤が小磯良平や竹中郁を招いた食事会での記念写真など、私的な部分に触れる資料も多く存在します。自画像のような凛とした佇まいではなく、家族として、また志とともにする仲間としてくつろぐ作家のもう一つの顔を見ることができこれらの資料は、作家の家族や親せき、親しい人たちが、思い出とともに大切に保管していたものでした。その思い出とともに残された資料が、視点を変えることでその時代の美術の歴史を紐解く重要な発見となります。あたかも、夜空に輝く星がつながり星座となるように、残された資料がその作家の形を浮かび上がらせてくれるのです。

この度、小出樞重や大橋了介、伊藤継郎のほか、芦屋カメラクラブや具体美術協会の関係資料などを所蔵作品とともに紹介し、作家像やグループ像に迫ります。

【アクセス】

徒歩＝阪神電車芦屋駅から南東へ約15分
 阪急バス＝「新浜町」または「芦屋市総合公園前」行き
 乗車(31・32・35・36・131系統)、「線町(美術博物館前)」停留所下車
 バスのりば＝①阪神電車芦屋駅一南側2番のりば
 ②JR芦屋駅一北側5番のりば
 ③阪急芦屋川駅一南側5番のりば
 併設駐車場＝当館をご利用の方は1時間無料
 8:00-20:00/30分100円
 20:00-8:00/60分100円



表面 (左上)小出樞重/妻重子 1928年 (右上)伊藤継郎/アトリエにて 白髪一雄、村上三郎らと 1950年頃 (中)大橋了介 モランにて 荻須高德、佐伯祐三、山口長男らと 1928年 (左下) 具体美術協会/グタイピナコテカにて 会員ほか 1965年 写真提供:大阪新美術館建設準備室 (右下)芦屋カメラクラブ/六甲山にて ハナヤ勘兵衛、中山岩太、紅谷吉之助、高瀬清治 1930年

芦屋市立美術博物館
 Ashiya City Museum of Art & History
 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
 TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp

【関連イベント】

★トーク「家族から見た作家像」(仮称)
 2019年1月20日(日)14:00-16:00(予定)
 語り手＝桑田敬司(写真店「ハナヤ勘兵衛」4代目、ハナヤ勘兵衛曾孫)、吉村有子(アーティスト・伊藤継郎孫)
 聞き手＝河崎晃一(甲南女子大学教授)
 会場＝講義室/定員＝60名
 ※聴講無料(ただし要観覧券)
 ※申込不要、直接会場へお越しください。

★ワークショップ
 「オリジナルの額に絵を飾ろう」
 12月16日(日)13:30-16:30
 会場＝体験学習室
 対象＝小学生以上のどなたでも/定員＝30名
 材料費＝300円(高校生以上は要観覧券)
 申込方法＝電話(0797-38-5432)にて、氏名、住所、年齢(子どものみ)、電話番号をお伝えください。
 ※締切＝12月7日(金)17:00まで
 ※応募者多数の場合は抽選。

★ボランティアによるガイドツアー
 会期中の水曜日 14:00-(約45分)
 ※聴講無料(ただし要観覧券)

★学芸員によるギャラリートーク
 12月15日(土)、2019年1月26日(土)、2月9日(土)
 両日とも14:00-(約1時間)
 ※聴講無料(ただし要観覧券)

○アートスタディプログラム2018
 まなびはく「松谷武判の仕事」
 12月22日(土)14:00-16:30(予定)
 講師＝松谷武判(美術家)/定員＝80名
 ※申込不要、直接会場へお越しください。

○ミュージアムエデュケーション研究会2018
 みんなの学美術「あいするデザイン」
 2019年1月19日(土)13:30-16:00
 講師＝角谷慶(グラフィックデザイナー)
 定員＝15名 ※要事前申込(締切1月5日(土))

◎詳しくは当館HPをご覧ください。